

船舶事故調査報告書

平成29年12月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故種類 | 衝突（防波堤） |
| 発生日時 | 平成29年6月30日 17時05分ごろ |
| 発生場所 | 山形県酒田市酒田港 酒田港第2北防波堤南灯台から真方位046°800m付近 （概位 北緯38°56.8′ 東経139°47.9′） |
| 事故の概要 | プレジャーボート ^{キング フィッシャー} KING FISHERは、南東進中、防波堤に衝突した。 |
| 事故調査の経過 | 平成29年7月3日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | プレジャーボート KING FISHER、5トン未満 |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 210-39061山形、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級小型 |
| 負傷者 | 軽傷 1人（船長） |
| 損傷 | 本船 沈没（全損） 防波堤 擦過傷 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏 |
| 事故の経過 | 本船は、船長が1人で乗り組み、知人1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、酒田市飛島北方沖で釣りを行った後、酒田港に向けて自動操舵で南東進中、船長が、操縦席を離れ、同乗者と共に船尾方を向いて釣り道具の片付け等を行っていたところ、酒田港第2北防波堤に衝突した。 船長は、頭部に裂傷を負った。 船長及び同乗者は、付近を航行していたプレジャーボートに救助された。 |
| 分析 | 本船は、自動操舵で南東進中、船長が、船尾方を向いて釣り道具の片付け等を行い、船首方の見張りを適切に行っていなかったことから、酒田港第2北防波堤に接近していることに気付かず、同防波堤に衝突したものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、船長が船首方の見張りを適切に行っていなかったため、本船が酒田港第2北防波堤に衝突したものと考えられる。 |
| 参考 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 常時適切な見張りを行うこと。 |